

## 2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 京都教育大学附属桃山中学校 ] 担当教諭名 [ 黒川 愛子・中西 秀晃 ] (1年3組 40名)

交流相手国 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Guei-ren Junior High School ] 担当教諭名 [ Snow Cheng ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	作品制作・集会(アートマイルのお話を聞こう、活動を進めるにあたって)	20
	美術	絵の構想を考える	4
	英語	手紙の書き方、英語で自国の文化について紹介する、クリスマスカード、グリーティングカード等	7
	社会	世界の国々を絵で表してみよう	6
	学級活動	スカイプ活動	1
	家庭科	料理と食文化	4

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	お互いの国の文化を伝えよう
絵に込めたメッセージ	日本一の高さの東京スカイツリー、富士山を表しました。 また、海外の人に人気のすしや桜、清水寺を描き、この絵を見てたくさんの人に日本を訪問してほしいです。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
それぞれが自分の役割を果たし協働できた。 相手の国について調べ学習をする中で、日本以外の国について考えるようになった。 英語でメールをしたいと考えるようになった。	スカイプ活動時間が相手校(クラブで水曜放課後しか活動していない)と合わずに、継続してできなかったことが残念だった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
話し合っ取組を決める、協働して作品を作り上げる、模造紙にフォーラム活動についてまとめるなどしてそれぞれの役割を果たせた。	異文化理解について、どのような方法で教育すればよいかを深く考える機会となった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	8月 9月 ～ 3月	・教師間はメールやフォーラムを使って交流。 ・生徒は2人ずつ全ての生徒がフォーラムで自己紹介をした。	・英語で自己紹介をするのは楽しそうであったが、言葉が出ずなかなか難しそうであった。	英語 学級活動
テーマ学習	8月 9月	・相手国と自国について自分の興味のあることについて調べ学び、レポートを作成。(社会) ・伝えたい内容を考える。(美術) ・相手国の食文化を知る。(家庭科) ・テーマについてみんなで交流する。	・相手国についてそれぞれ生徒について調べたことや伝えたい内容も違い、様々な作品ができ、鑑賞できていた。 ・二つの国の料理を作り、相手国の食文化を知った。 ・物語が日本のものと似ていることを知った。 ・スカイプでテーマについて交流して、海外とつながることで親近感がわいたようであった。	社会 美術 家庭科 学級活動
構図決定	9月	・クラスで原画を考え、ホワイトボードにレイアウトを考え、写真を撮っておく。 ・それぞれが考えた構図をあわせて、一つの作品とする。	・自分の描いて来た作品を持ち寄り、一番良いものにしていこうと考えを出し合い交流していた。	学級活動 総合学習
壁画制作	10月	・デザインが決まったので下書きを描き、そのあとでその下書きをもとにキャンパスに描いた。 ・模造紙に相手国が描くであろう作品を想像して描いた。	・日本側の作品と、海外側の作品を20人ずつに分けて作品に全員で関わることで、生徒の交流が見られた。	総合学習
鑑賞・振り返り	3月	・英語の研究発表、本校の研究発表、学校説明会などで展示した。 ・現在は学校に展示している。 ・スカイプでチャイニーズイヤー(中国の旧暦のお正月や日本のお正月について、話し合った)	・毎日鑑賞することができる場所に作品を展示したことで、自分達の作品を誇れるものと思っているようであった。	学級活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	総合学習などでは、京都市伏見の文化を調べまとめる学習もあり、大きく日本を伝える身近な日本を伝えるなどの理解ができた。
異文化の理解	A	4	調べ学習などを通して他の文化を知り、食文化や言語などを理解しようとした。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	フォーラムでほぼ毎週2人ずつ自己紹介メールなどを送信できた。様々な活動でお互いの意見を聞き、意見をまとめることができた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	絵の構図を考えると、日本の伝えたいことを調べ、どうやったら相手に伝わるのかを深く考えた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	グループで交流内容を決めたり、デザインを考えたり、作品をしあげたりするときに相手を尊重するようになった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	それぞれの役割を決め、協力して活動を進めることが出来た。
学習を追究する意欲	B	4	日本や諸外国について調べて理解するという活動を通して、興味関心のある事柄について深く考えるようになった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	絵を得意とする生徒が中心になって、1つのデザインにまとめ、相手に伝わる作品を作ろうと努力した。
作品を鑑賞する力	B	4	展示された作品を鑑賞し、それぞれの作品について自分の感想を持てた。

